

## 「成人の集い」対象年齢について

### 1 対象年齢

帯広市における「成人の集い」の対象年齢について、令和4年4月1日施行の民法改正後においても現在と同様の20歳とし、名称を(仮)「20歳を祝う集い」として開催します。

### 2 対象年齢を20歳とする理由

- (1) 20歳は、飲酒や喫煙も含め、全ての年齢制限がなくなる区切りの年齢であり、社会的にも自立した成人としての自覚と責任を担って欲しいという思いから、20歳を市全体でお祝いすることが適している。
- (2) 20歳での開催は、進学や就職などで一時的に地元を離れている人が帰省し、ふるさとの良さや同級生との絆、つながりを再確認する機会となっている。
- (3) 18歳を対象とした場合、大学受験や就職など多忙な時期であるとともに経済的負担が大きい時期と重なる。20歳の方が進学等や就職後の落ち着いた環境にあり、多くの人が参加しやすい。
- (4) 内閣府の世論調査や管内高校の意識調査において、20歳の開催希望が多数。

### 3 成人式に関する調査

#### (1) 内閣府の世論調査 (H30年)

○16歳～22歳を対象とした回答では、対象年齢について20歳が71.9%、18歳が18.9%、その他が9.2%となっている。

また、開催時期は1月が63.4%、3月24.1%。

○40歳～59歳を対象とした回答では、対象年齢について20歳が55.0%、18歳が34.4%、その他が10.6%となっている。

また、開催時期は1月が55.8%、3月が19.0%。

#### (2) 管内高校の意識調査

調査の協力を得られた管内高校8校の生徒意見では、7校(87.5%)が20歳での開催を希望している。

#### (3) 他市町村の状況

○ 全市区町村を対象に行ったR元年調査では、対象年齢を決定している自治体が6.5%、決定している自治体の91.0%が20歳で開催となっている。

○ 道内は、20歳開催が27市町村(15.1%)、18歳開催が2町村(1.1%)、未定が150市町村(83.8%)となっている。

### 4 その他

新成人である18歳(令和4年度のみ19歳も該当)に対し、お祝いの言葉等を記載したメッセージを送り、あわせて、2年後の(仮)「20歳を祝う集い」を周知することを検討する。